

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：内科（消化器内科）

【一般外来（総合内科）並行】

コース責任者：野々木 理子

研修期間：必修科（内科）として28週間のうち6週間

選択必修科（内科）として28週間のうち4週間

選択科として4週間から

I：一般目標（GIO：General Instructional Objective）

医師として望ましい姿勢・態度と基本的な診療能力を身に付け、一般的な消化器疾患の病態を理解し、病歴聴取、身体診察、各種検査に基づいて確定診断するとともに、治療計画を立て、指導医または上級医の指導のもと治療ができる。また、患者、家族と良好な関係を築き、平穏な入院生活ができるように病棟スタッフと協力し、さらに病状安定後の診療について地域医療機関と連携をとりつつ進めることができる。

II：行動目標（SBOs：Specific Behavioral objectives）

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

B. 診察法・検査・手技

①主な医療面接・基本的な身体診察法

- 1) 消化器疾患患者の医療面接、身体診察を正確に行うことができる。
- 2) 全身を系統的に診察し、所見を挙げるとともに正確に診療録への記載ができる。
- 3) 頻度の高い病態、疾患に関しエビデンスに基づいた標準的な診療方法を理解し、実施することができる。
- 4) 検査結果を理解し、判断することができる
- 5) 患者及び患者家族に検査内容の説明や結果を平易な言葉で分かりやすく説明することができる。
- 6) 血液・生化学検査の結果や画像所見を理解し、必要な治療や追加検査を判断することができる。
- 7) 看護部、メディカルスタッフ、他科と良好な関係を保ち、チーム医療を実践することができる。

②主な基本的な臨床検査

- 1) 消化器関連検査の一般的な検査、治療手技を理解し、実施することができる。
(腹水穿刺、経鼻胃管挿入、中心静脈カテーテル挿入 など)
- 2) 消化管関連検査の適応や検査の特性を理解し、指導医または上級医のもとで実施することができる。
(超音波検査、透視検査、内視鏡検査 など)

3) 基本的臨床検査の内容を理解し、適応について説明することができる。

(尿、便、血液 など)

4) 画像検査の内容を理解し、適応について説明することができる。

(単純 X 線、CT、MRI など)

③主な基本的手技

1) 採血法（静脈血・動脈血）を実施することができる。

2) 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保）を実施することができる。

3) 経鼻胃管挿入ならびに管理を適切に行うことができる。

4) 治療や手技については適応を理解し、指導医または上級医の助手に当たりつつ、検査の流れを体験し実施することができる。

5) 上部内視鏡検査については、指導医または上級医のもとでモデルによる練習で基本操作を取得した上で、主に鎮静をかけた入院患者を対象にスクリーニング検査を経験したり処置の助手を行うことができる。

6) 内視鏡治療を受けた患者の術後の管理方法を習得することができる。

7) 指導医または上級医の緊急内視鏡には、可能な限り参加し、間近で手技を診る。

C. 主な症状・病態の経験

食欲不振、黄疸、嘔気・嘔吐、胸やけ、腹痛、便通異常、急性腹症、急性消化管出血、食道・胃・十二指腸疾患、小腸・大腸疾患、胆嚢・胆管疾患、肝疾患、膵臓疾患、良性腫瘍、悪性腫瘍 など

Ⅲ：学習方法 (LS : Learning Strategy)

1) LS (方略) 1 : On-the-job training

■主な病棟業務

- ・主治医を含む指導医または上級医の指導のもと、OJT を中心とした診療に参加する。指導医または上級医とともに診断・治療にあたる。
- ・担当患者の医療面接、身体診察や検査立案を行い、SOAP 形式で診療録に記録する。
- ・担当患者の一般撮影、エコー、CT、MRI、消化管造影、内視鏡などの各種画像検査の手技及び読影方法を学ぶ。
- ・患者および家族と良好な人間関係を確立できるように努力する。
- ・看護師、薬剤師、管理栄養士、事務などと協力し、診療することが出来るように努力する。

■主な外来業務

- ・消化器科外来にて初診患者の医療面接と診療記載を行い、指導医または上級医の指導のもと外来業務のシステムや手順を学ぶ。
- ・定期的に夜間・休日業務に参加し、指導医または上級医とともに内科系 ER 患者への初期対応を行う。救急車搬送患者には、救急担当当番医と協力して心肺蘇生を含む救急処置

に参加する。

- ・指導医または上級医とともに総合内科の外来診療に参加し、初期診断・経過評価・治療調整や療養指導のプロセスを学ぶ。

2) LS (方略) 2: カンファレンス・勉強会

- ・毎週月曜日の内科カンファレンスでは、自分の担当新患者の診断・治療についてまとめて発表する。
- ・各科合同カンファレンス（カンサーボード）では、広い視野で病態や血液・画像診断について理解を深めながら、それぞれの患者に適した治療方針が選択される過程を学ぶ。
- ・月に1度の内視鏡カンファレンスでは、内視鏡画像を検証し、病理組織像との対比により理解を深める。

3) LS (方略) 3: 学会・研究会・学術活動

- ・学術講演会や各種の院内研修（医療安全や感染対策など）に積極的に参加する。
- ・消化器疾患に対する講演会や研修会に積極的に参加して知識を深めるとともに、学会発表や症例報告論文を作成する能力を身に付ける。

○週間予定表（一例）

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 外来 病棟回診	カンファレンス 内視鏡 病棟回診	カンファレンス 内視鏡 病棟回診	カンファレンス 内視鏡 病棟回診	カンファレンス 内視鏡 病棟回診
午後	外来 病棟回診 カンファレンス 内科カンファレンス	内視鏡 病棟回診 カンファレンス	内視鏡 病棟回診 カンファレンス	内視鏡 病棟回診 カンファレンス	内視鏡 病棟回診 カンファレンス

* 1日/週は総合内科の一般外来研修を並行する。

IV: 学習評価 (EV: Evaluation)

PG-EPOC による総合評価

- 1) 個々の診療記録と退院要約（サマリー）は、定期的に指導医の評価と承認を受ける。
※退院要約（サマリー）は、1週間以内に記載すること。
- 2) ローテイト研修終了時に、PG-EPOC に診療経験にもとづく自己評価を行い、指導医に

よる評価を受ける。

- 3) 診察態度や協調性について看護部及びメディカルスタッフ等による 360 度評価を行う。